

YSS SUSPENSION PD VALVE 取付・取扱 説明書

WORLD CLASS SUSPENSION



取付けに必要な工具

1. 6.8mmのドリル
2. パイプカッター
3. YSS フォークオイル

取付け前に

※本製品を取り付け、ご使用になる前に、必ず取付け、取り扱い説明書をよくお読みください。

※製品の取付けは、車両本体メーカーが発行するサービスマニュアルを基本とし、確かな知識と技術を持ったプロのメカニック(サスペンションメカニック)によりおこなってください。

※必要に応じて、フォークスプリング、フォークシール、フォークオイルの交換をおこなってください。

※本製品を取りつける際はピストンロッドのオリフィス加工が必要になります。

取付け方法

1. サーマニュアルに従ってフロントフォークを取り外し、分解してください。

2. 必要に応じてフォークシールの交換をおこなってください。フォークシールを交換しない場合は、インナーチューブとアウターチューブを分離しないでください。

※フォークシールを取り外した場合は、絶対に再使用しないでください。

3. フォークスプリングとピストンロッドを取り外してください。

4. 本製品の寸法に間違いが無い事を確認ください。適合サイズはフォークスプリングの外径以下、内径以上です。

5. ピストンロッドのピストン上面に本製品のナット側の段差面をセットしてください。※Picture3を参照

ポイント…本製品のナット側段差面とピストン上面の、それぞれの面が接触せずに浮いたり、隙間がない事を確認ください。(図Aの状態)
それぞれの面が接触せずに浮いたり、隙間がある場合(図Bや図Cの状態)は、アダプターを別途製作し、図B-1や図C-1の状態でご使用ください。

6. 以下の通りにコンプレッションホールを追加加工します。※Picture2を参照。

- PD175・・・6mmの穴を4箇所
- PD235・・・8mmの穴を4箇所
- PD265～PD425・・・8mmの穴を6箇所

※穴の上下間隔は10mmにしてください。

7. 加工した穴の内側と外側のバリを取ってください。

8. 本製品のバルブスプリングプリロードの調整をおこないます。プリロード0mm位置を確認し、0mm位置から2回転締め込んだ状態でロックナットを固定してください。

ポイント…バルブスプリングのプリロード量を変更する事により、ブレーキ時やフロントダイブ時の反応速度を調整する事が可能です。

※スプリングレートは175, 235の場合7Nm、310、335、360、425は12Nm。

9. 本製品を組み込むと本体部分の厚み分、フォークスプリングにプリロードが掛かります。

本体を計測し、その高さ分スプリングスペーサーをカットしてください。

10. 規定量の2/3程度のフォークオイルを注入し、数回ストロークさせエア抜きし、

本製品のボルトトップをフォークトップ方向へ向けフロントフォーク内へセットし、

フロントフォークの油面調整をおこなってください。

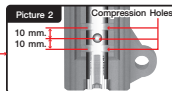
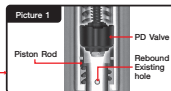
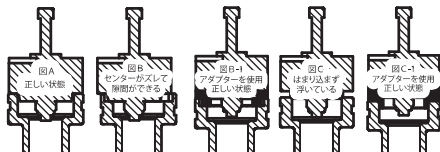
※フォークオイルはYSSをおすすめします。走行ステージに合わせて粘度の変更をおこなってください。

11. フォークスプリングを組み込み、トップキャップを締め付け、フロントフォークを元の通りに車両に組み付けてください。

12. 各ボルト、ナットの締め付けを再確認してください。以上で取付けは終了です。

お好みに合わせてオイル粘度の変更や、バルブスプリングプリロードを調整してセッティングをお楽しみください。

Picture 3



Tuning Option.

Tuning	Standard	Optional	Advantage
フォークフルード グレード(1)	15W	5W, 10W, 20W, 30W	リバウンドダンピングはオイル粘度に 依存します。
バルブスプリング プリロード(2)	2回転	0-7mm	全体的な硬さ、ブレーキ時の フロントダイブの速度の制御

備考

(1) オイル粘度でリバウンドダンピング強さを調整します。

次にPDバルブでコンプレッションを調整します。調整はバルブスプリングのプリロード量でおこないます。

PDバルブはリバウンドダンピングに影響ませんが、オイル粘度はリバウンドダンピングに影響します。

(2) バルブ・スプリングはプリロード0mmの状態から測定します。

YSS JAPAN

輸入販売元 (株) ビーエムシー

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3071 ☎0799-60-0080